

天草エアラインの活用について
旧本渡・五和ゴルフ場予定地跡利用計画について



鎌光 孝秀
議員

【後継機ATR42の導入について】

【古賀】 導入についての経緯は。

【市長】 天草空港に乗り入れ可能なこと、事業規模に適した航空機であると判断した。

【古賀】 エアラインの利用状況は。

【地域振興部長】 平成25年度は、7万6,387人となっている。前年度より、約1万人増となっている。

【古賀】 利用促進補助事業とは。

【地域振興部長】 国交省において、地方航空路線活性化プログラム事業が本年度から平成28年度まで、年間3,600万円の支援がある。

【古賀】 航空機更新の今後の日程は。

【地域振興部長】 平成27年6月に航空機納入予定で、9月からパイロットの訓練を開始し、10月中旬から実機訓練を行い、平成28年1月から運航開始の予定である。

【古賀】 空港設備の整備が必要になるが、工事の状況と期間中は運休するのか。

【地域振興部長】 現有機より重量が重くなるため滑走路の整備が必要となる。工事は、運航に支障がない。



▲48人乗りの後継機ATR42-600

いように夜間に実施する。エアラインは減便して運航するよう検討している。

【古賀】 ゴルフ場予定地跡利用計画について

【古賀】 活用計画を進めるための課題や問題点は何か。

【地域振興部長】 仮登記の面積は、約26ヘクタール、地権者160人となっている。相続人を含めると400人に達する。仮登記の解消は、平成26年6月から、本市農業委員会の「非農地認定」の運用が始まり、短期間に手続きが進むことになる。現在、手続きを進めている。

市職員の適正化と今後の採用について



古賀 源一郎
議員

【古賀】 市長は常々支所の充実を考えているとのことだが、均衡ある地域の発展を考えるのであれば地域を考慮した職員の採用を考えているのか。また、来年度からは20名程度の採用というのであれば、成績一辺倒な試験重視より地元高校からの推薦枠を設けてみてはどうか。

【市長】 採用については公平性を重視している。地域性に重きを置くことは難しい。また推薦枠についても全て一般職という訳ではないので難しい。

【安心して暮らせる高校進学とは】

【古賀】 県教委が進める高校再編により地域から高校がなくなっている。通学が困難な家庭への支援策はどうなっているのか。私の持論である市営の学生寮の建設についてはどう思っているのか。天草市は看護学校を持っている自治体でもあるので、地元高校に看護科を併設して本渡看護学校との連携を取るべきではないか。ちなみに、天草市の小・中学校の統合により160名ほどの教職員が減り

県の持ち出しの人員費は年間10億円ほど減額になっているので、県に対し経済的にも十分要望できると思うが。

【市長】 従来より市営の学生寮を提案されていることは知っている。寮についてはこれまで通り県に対応してもらいたい。通学支援等についても平準化を図り地域によって偏りがないようにしていきたい。

【コミュニティFMが地域にもたらす影響と防災】

【古賀】 以前より地域コミュニティFMや防災の面でのFM局の必要性を訴えてきた。市長はどう思っているのか。また、天草市においては隣接県との干渉により電波帯の空き（潜在電界調査）が心配されるが調査の必要性は無いのか。

【市長】 FM局は東日本大震災においてもその力を十分発揮しており、既に情報政策課に防災危機管理課と連携して協議するように指示している。また、潜在電界調査については業務委託の作業を終了しており集札業務に入っている。

牛深ハイヤ祭りについて・夕陽について
天草八代架橋について



浜崎 昭臣
議員

【牛深ハイヤ祭りについて】

【浜崎】 合併効果が全く生かされていない。一例として総踊り参加人員は合併前5千人前後が、合併後3千人超すがやつの状態。市長自らが実行委員長を引き受け、天草全体に波及効果を及ぼす一大イベントにするお考えはないか。

【市長】 「牛深ハイヤ祭り実行委員会設置要項」で天草宝島観光協会牛深支部長をもって充てるとある。

【浜崎】 「全国ハイヤサミット」が休止状態と認識している。それを毎年牛深で開催し、天草ほとんどハイヤ祭りも合流し、天草全体が協力して日本を代表する祭りにするために是非市長に実行委員長を引き受けて頂きたい。平成28年、第45回大会は節目の大会、「崎津集落」世界遺産登録の年でもあるので強く要望する。

【天草夕陽八景について】

【浜崎】 夕陽八景は未整備の上、「夕陽検討委員会」が解散。三支所長に真意を問う。

【牛深、天草、河浦支所長】 施設整備は概ね完了したと考えている。

【古賀】 後は民間主導が最善と思う。

【浜崎】 あまりにも感覚的に差があり過ぎる。民の前の前の段階である。八景の不備点指摘。観光文化部長はどう思うか。

【観光文化部長】 指摘の通り案内等わかりにくいので、案内看板の設置や追加標示、板面改修等を実施する。

【市長】 検討委員会が解散されても、浜崎議員の言う通り不足しているものは当然やるべき。議員指摘の不備は直接、観光振興課でやるのは当然。今後私も現場をみてやるべき事はやっていく。

【天草・八代架橋について】

【浜崎】 上天草市前島地区、本年度から5カ年計画で観光誘客100万人を目指す観光複合施設がスタートする。大矢野、松島の交通大渋滞を勘案し天草・八代架橋を前向きに検討すべき。

【市長】 熊本県の取組みも不可避であるので、今後の動向を注視しながら、関係自治体と連携した取組みを進めていく。

雇用問題について・川内原発について
第一次産業の発展について



浜崎 義昭
議員

【地方志向の若い世代を迎え入れる対策を】

【浜崎】 地方の田舎暮らしに魅力を感じる若い世代が増えていく。田舎暮らしに憧れられても、定住の支援や就労の支援がなければ、なかなか実現しない。天草市独自の定住支援策を求めたい。ターソン・Uターンの若者には、多種多様な職種経験を持った方がいる。天草の魅力（自然、農漁業・伝統産業・再生可能エネルギー等々）の様々な特徴を生かしていきける就労支援策を取り組んでいくべきではないか。

【経済部長】 今回提案している産業振興チャレンジ基金を活用する支援を考えている。

【川内原発が天草市にあたる影響について】

【浜崎】 世界有数の地震大国日本に住んでいる。御岳山噴火、桜島噴火、阿蘇中岳噴火と、この頃地殻変動が相次いでいる。川内原発から天草市は、40キロ圏内に入っている。天草市民の命を守るために、大規模災害の目安となる活断層の調査等は、どの様になっているか。

【有害鳥獣被害・漁業被害対策現状と課題】

【総務部長】 「川内原子力発電所に係る熊本県・関係4市町対策推進会議」連携・協力して必要な対策を推進する。

【浜崎】 農業：5千数百頭のイノシシが捕獲されているが、現在、鳥獣被害を防止するために捕獲方法にはどのような方法が行われているのか。より一層捕獲を行うためには、わなの数が不足している。新規狩猟免許取得者への、はこ民の貸し出しを行うべきだと考える。

【漁業】 棒受け網では、網で捕獲した後、船のいけすに、入れるまでの間に網を食い破る被害が発生している。被害を食い止める為に「伝統漁法の再開」と「捕獲されたフ力」の利用促進の為、資金援助対策などは出来ないか。

【経済部長】 新規捕獲者の確保・捕獲技術等を推進する。漁協等が行うならば市も支援していくことも可能。